

平成29年度 奈良県立五條高等学校（全日制）学校評価計画表

学校経営方針	<p><b>夢の実現を目指した活力ある学校</b>                      ～ 適切な「判断と決断」少しの「勇気」                      夢の実現に向けた「挑戦」～</p> <p>本校では、将来の目標を見据えて、常に高い志をもって行動できる生徒の育成に重点を置いている。そのために、生徒各自の適切な「判断と決断」・少しの「勇気」・夢の実現に向けた「挑戦」をキーワードとして、生徒自らが主体的に取り組む態度を育成する。さらに、「社会で自立して生き抜く力の育成」を目指し、「未来につながる確かな学力」「豊かな心で人と連なるコミュニケーション能力」「困難に打ち克つ体力・忍耐力・規範意識」の向上に努める。</p>		総合評価				
前年度の成果と課題	<p>これまで、生徒の実態に合わせながら、充実した施設設備を最大限に活用し、創造的で独創的な多くの取組を積極的に実践することによって、                      ①『学校の魅力づくり』と ②『入学希望生徒の確保』を学校経営の主眼点とし、学校の活性化に取り組んできた。学校改革に向けた取組をはじめ10年余りが経過したが、地元五條市域等の少子化の進行で不安定要素が大きくなっている。                      平成27年度においては、入試におけるスクールバスの運行、による中学校やその保護者に対する広報、平成28年度においては、スクールカウンセラー、教育相談スーパーバイザーの単独配置による教育相談体制の構築、学校運営協議会の設置による地域と共にある学校づくりの推進、グラウンド人工芝生化工事による施設・設備の充実、等、10年後を視野に入れた新しい学校改革にむけて、積極的な取り組みを進めた。                      今後とも、現状の課題を整理しながら、生徒・保護者の期待に応えるべく、学力の向上を図るなど更なる改善・充実を図る必要がある。</p>						
<p>本年度の重点目標</p> <p>具体的目標                      ○主な具体的方策</p>		評価の指標（担当）等	自己評価	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価	
1 「社会で自立して生き抜く力」の育成							
<p>(1) 未来につながる確かな学力                      ①学習指導の工夫改善、家庭での主体的な学習習慣の定着                      ○生徒の基礎学力の向上を図る。</p> <p>②少人数・習熟度別指導の充実、外部講師の活用                      ○生徒の実態に応じた授業展開、教材開発を行う。</p> <p>③オーストラリア姉妹校交流による国際感覚の涵養                      ○オーストラリア・ガートン校との海外短期研修を円滑に行う。</p> <p>④計画的・系統的な進路指導とキャリア教育の充実                      ○進路決定に向けたホームルーム活動や相談活動を充実させる。</p>		<p>⇒生徒アンケート「五條高校で行われている授業や課題、小テスト等に取り組むことで、うまく学習を進めることができている。」(教務部)                      29年度〈目標:80%〉</p> <p>⇒保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」(教務部)                      29年度〈目標:85%〉</p> <p>⇒生徒アンケート「五條高校では授業の方法が自分に適していて、内容がよく理解できそうである」(教務部)                      29年度〈目標:75%以上〉</p> <p>⇒本校よりの短期海外研修における参加人数(総務部)                      29年度〈目標:15名〉</p> <p>⇒生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」(進路指導部)                      29年度〈目標:90%以上〉</p> <p>⇒生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」(進路指導部)                      29年度〈目標:90%〉</p>					
<p>(2) 豊かな心で、人と連なるコミュニケーション能力                      ①地域と繋がり、地元貢献するボランティア活動の推進                      ○通学路美化活動を実施する。</p> <p>②生徒が主体的に運営する学校行事の工夫                      ○生徒会執行部の活動の活性化を図り、魅力ある実践活動を目指す。</p>		<p>・五條市学生版元気なまちづくり交付金関連の取組及び地域イベントへの参加・協力</p> <p>⇒通学路美化活動を学期に1回実施する。(環境美化部)</p> <p>⇒生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心が持てる内容である」(生徒指導部)                      29年度〈目標:80%〉</p>					
<p>(3) 困難に打ち克つ体力・忍耐力・規範意識                      ①部活動活性化による「文武両道」の実現                      ○部活動加入に向けた取組を工夫し、部活動加入率を向上させる。</p> <p>②「金剛登山」など、豊富な体育的行事で鍛える体力・忍耐力                      ○体育活動を通して生徒の心身の健全な発育と体力の向上を図るとともに生徒を主体とした体育活動を実施する。</p> <p>③交通安全教育・挨拶運動等による規範意識の醸成                      ○街頭での交通安全指導、原付免許取得者や自転車通学生徒に対する各種集会を通して安全運転の意識を高める。</p>		<p>⇒部活動加入率(生徒指導部)                      29年度〈目標:80%〉</p> <p>⇒各体育行事の参加率(保健体育部)                      29年度〈目標:95%以上〉</p> <p>⇒事故件数・違反件数(生徒指導部)                      29年度〈目標:0件〉</p>					

<p>2 外部との連携・情報発信の強化</p> <p>①地域と共にある学校づくりの推進</p> <p>②育友会・同窓会との連携強化 ○育友会活動に参加しやすい状況を確保する。</p> <p>③HPの充実等による効果的な広報活動の推進 ○HPの充実を図り、保護者等にリアルタイムで学校の状況を伝える。</p>	<p>・県立学校による地域との協働推進事業 ・中学生のための教科開放講座・スポーツ教室等の開催</p> <p>⇒育友会の会員研修会への参加者数（総務部） <b>29年度〈目標:30名〉</b></p> <p>⇒学校Web年間更新回数（総務部） <b>29年度〈目標:120回〉</b></p>			
<p>3 安定した入学希望者の確保</p> <p>①グラウンド人工芝化による諸活動の活性化</p> <p>②地域・中学校との連携と学習塾へのアプローチ ○オープンキャンパスを開催する。</p> <p>③生徒の可能性を最大限に伸ばせる指導の充実 ○進路指導にかかわる職員研修の機会を適宜持つ。</p>	<p>・施設開放や小中学生を対象としたスポーツ交流・イベントの開催</p> <p>⇒オープンキャンパス参加者数（総務部） <b>29年度〈目標:420名〉</b></p> <p>⇒全体、学年ごとを合わせて、総数5回。（進路指導部）</p>			
<p>4 学校改善のための組織的取組</p> <p>①コミュニティ・スクール（学校運営協議会）による学校改革と諸活動の最適化</p> <p>②教育相談体制の充実 ○教育相談体制を確立する。</p> <p>③授業力向上を目指した取組の充実 ○各教科の研究授業を1回以上行い、その約半数の教科で指導主事を招いて実施する。</p> <p>④いじめを許さない学校づくりの推進 ○人権教育ホームルームでの内容に「なかまづくり」を導入する。</p> <p>⑤藤花寮の安定した維持管理</p> <p>⑥スクールバスの活用</p>	<p>⇒生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」（生徒指導部） <b>29年度〈目標:80%〉</b></p> <p>⇒授業アンケートにおいて、1学期末の評価より2学期末の評価が向上した教員の割合を増やす。（教務部） <b>29年度〈目標:70%以上〉</b></p> <p>⇒教員アンケート「五條高校では、研究授業など、授業改善に向けた取組が活発に行われている」（教務部） <b>29年度〈目標:80%以上〉</b></p> <p>⇒生徒アンケート「五條高校では、授業やHRにおいて、人権問題について考える機会が多い」（人権教育部） <b>29年度〈目標:95%〉</b></p>			

各分掌等の評価総括

分掌等	具体的目標	具体的方策	評価の指標等	自己評価	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価
総務部	1-(1)-③ ○異文化理解を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリア・ガートン校との海外短期研修を円滑に行う。</li> <li>・「日韓中ESD-GAP推進国際ワークショップ」等の異文化理解の交流会に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校よりの短期研修において、参加人数の増加を図り、国際的な視野を広げさせる。 <b>29年度〈目標:15名〉</b></li> <li>・異文化理解の交流会に参加し、事後学習をする。</li> </ul>				
	2-② ○外部への情報発信の充実に努め、積極的に意見聴取を行うことにより、育友会・同窓会・地域との連携を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育友会・同窓会との連携を密にし、学校運営に対する協力・援助を求める。</li> <li>・育友会役員会に参加しやすい状況を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育友会・同窓会の定例会に参加し、機会に応じて学校との交流を図る。</li> <li>・育友会の会員研修会への参加意識を高める。 <b>29年度〈目標:30名〉</b></li> </ul>				
	2-③ ○学校ホームページや掲示板等を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの充実を図り、保護者等にリアルタイムで学校の状況を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間更新回数を増加させ、情報をタイムリーに発信する。 <b>29年度〈目標:120回〉</b></li> </ul>				
	3-② ○中学生やその保護者を対象に五條高校の魅力を情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五條高校紹介のパンフレット等を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『学校案内』（5,000部）、『Good Job通信』（年間4回）『キャンパスライフ』等の内容を検討し、改訂する。</li> </ul>				

	報発信する。	・オープンキャンパスを開催する。	・9月の第4週土曜日に開催する。 29年度〈目標:420名〉			
教務部	1-(1)-① / 1-(1)-② ○ 学習活動の工夫を図る。	・生徒の基礎学力の向上を図る。 ・生徒の実態に応じた授業展開、教材開発を行う。	・生徒アンケート「五條高校で行われている授業や課題、小テスト等に取り組むことで、うまく学習を進めることができている」 29年度〈目標:80%以上〉			
			・生徒アンケート「五條高校では授業の方法が自分に適していて、内容がよく理解できそうである」 29年度〈目標:75%以上〉			
	4-③ ○ 授業と評価の改善、指導力向上を推進する。	・各教科の研究授業を1回以上行い、その約半数の教科で指導主事を招いて実施する。 ・指導主事を招いた研究授業では、研究協議に教科の教員が全員参加できるよう努める。 ・他教科の任意の授業を参観する期間を設け、参観希望授業の集約や調整、時間割変更を確実にを行う。	・保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」 29年度〈目標:85%以上〉			
			・授業アンケートにおいて、1学期末の評価より2学期末の評価が向上した教員の割合を増やす。 29年度〈目標:70%以上〉			
生徒指導部	1-(3) ○ 基本的な生活習慣を確立する。	・挨拶や言葉遣い、身だしなみ、時間を守ること等、基本的な生活習慣を確立させる。	・年間欠席総数 目標昨年度比約10%以上減 29年度〈目標:2300回〉			
			・年間遅刻総数 目標昨年度比約10%以上減 29年度〈目標:800回〉			
	1-(3)-③ ○ 交通安全指導の徹底を図ると共に規範意識を向上させる。	・街頭での交通安全指導を実施するとともに、原付免許取得者や自転車通学生徒に対して各種集会を通して安全運転の意識を高める。事故・違反ともに絶無を目指す。 ・ホームルーム活動を通して、規範意識や人を思いやる態度を育成し、豊かな人間関係を築かせる。	・原付免許取得者集会、単車通学生集会、単車実技講習会、自転車通学生集会をそれぞれ開催する。 事故件数 29年度〈目標:0件〉 違反件数 29年度〈目標:0件〉 ・外部講師による生活安全講演会を年間1回以上実施する。 ・生徒アンケート「あなたは服装や髪型など学校の規則や決まりをきちんと守っていますか」 29年度〈目標:90%以上〉			
	1-(2)-①② / 1-(3)-① / 2-① ○ 生徒会活動や部活動を積極的に奨励し、生徒の主体的活動を促進する。	・生徒会執行部の活動の活性化を図り、魅力ある実践活動を目指す。 ・部活動加入に向けた取組を工夫し、部活動加入率を向上させる。 ・各部に所属する生徒一人一人の所属感、使命感、活動意欲の高揚を図るため集会を開催する。	・生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心が持てる内容である」 29年度〈目標:80%〉 ・部活動加入率 29年度〈目標:80%〉 ・部員集会やキャプテン会議を学期に1回以上開催する。			
	4-② ○ 教育相談体制を確立する。	・教育相談体制を整備して、支援を必要とする生徒（不登校傾向を示す生徒や特に困難な課題を持つ生徒等）やその保護者を対象に、外部機関と連携を図りながらカウンセリングを受ける機会を広げる。	・問題を抱える生徒の早期発見、早期対応、予防的な取組を行う。 ・当該生徒対象にケース会議を考査期間中に開き、対応を検討する。 ・生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」 29年度〈目標:80%〉			
進路指導部	1-(1)-②④ ○ 計画的・系統的な進路指導を行う。	・集会や説明会等を行うことで、望ましい勤労観、職業観を含め、進路について広く深く考えさせる。	・集会、説明会等の実施総数10回。			
	1-(1)-④ / 3-③ ○ 生徒一人一人の進路の実現に向けて、明確な目的意識を持って学習に取り組ませる。	・進路決定に向けたホームルーム活動や相談活動を充実させる。	・生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」 29年度〈目標:90%以上〉 ・生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」 29年度〈目標:90%〉			
	1-(1)-④ / 3-③ ○ 望ましい勤労観、職業観	・進路指導にかかわる職員研修の機会を適宜持つ。	・全体、学年ごとを合わせて、総数5回。			

	を身に付けさせる。						
人権 教育部	1-(2) ○ 職員の人権意識の資質向上を図る。	・人権教育推進に関する職員研修会を実施する。	・年1～2回に、外部から招聘した講師による研修会を開く。				
	1-(2) / 4-④ ○ 人権教育・道徳教育の充実を図り、人間としての在り方生き方を大切に育てる。	・人権教育ホームルームでの内容に「なかまづくり」を導入する。 ・道徳教育の全体計画を作成し、道徳教育を推進する。	・生徒の実態に応じた人権教育年間計画を作成する。 ・道徳教育全体計画に基づき実施し、成果を検証する。 ・生徒アンケート「五條高校では、授業やHRにおいて、人権問題について考える機会が多い」 29年度〈目標:92%〉				
	1-(2) ○ 生徒の人権意識を高める。	・「人権を確かめあう日」の啓発文書の文案作成を各分掌に依頼し、多様な視点から人権について考えさせる。	・毎月の「人権を確かめあう日」に生徒・保護者向けの啓発文書を年10回発行する。				
	1-(2) ○ 人権系の力量を高める。	・全学年のホームルームから人権係を2名ずつ選出、人権意識向上の活動を行う。 ・人権系の生徒対象に人権にかかわる講習会を開催する。	・「人権を確かめあう日」の啓発文書配布時に、係生徒が全校生徒向けにその趣旨を放送によりアピールする。 ・ボランティア活動に積極的に参加する。 ・講習会を実施し、クラスでの人権教育の中心として活動できる力量を育てる。 ・人権映画会の司会を人権係が担当する。				
文化 図書部	1-(2)-② ○ 文化行事の充実を図る。	・文化行事の実施により、生徒の自主性や創造性を伸ばし、生徒自らが文化的な活動に取り組む意欲を醸成する。	・文化祭2日間の欠席者数を生徒総数の1%未満にする。 29年度〈目標:10名未満〉 ・カルタ大会・おはなし会を実施する。				
	1-(2)-② ○ 図書館利用の促進を図る。	・『図書館報』『図書館だより』を発行し、図書館利用を促進する。	・図書館利用者の増加を図る。 29年度〈目標:11,000人〉 ・貸出冊数の増加を図る。 29年度〈目標:1,600冊〉				
	1-(1)-① ○ 読書活動の活性化を図る。	・生徒の読書の機会を増やし、自ら読書に取り組み、自らの生活を豊かなものにしようとする態度を養う。	・「読書の時間」を月曜日と木曜日のSHRに7分設定し、考査後1週間は、すべての日で実施。読書の習慣を身に付けさせる取組を進める。				
保健 体育部	1-(1)-① / 1-(2)-② / 1-(3)-② ○ 体育活動を積極的に取り組む姿勢を養う。 ○ 体力の向上を図る	・体育活動を通して生徒の心身の健全な発育と体力の向上、(脚力、忍耐力を鍛える)を図るとともに生徒を主体とした体育活動を実施する。 ・体育活動を通じて人と連なるコミュニケーション能力を培う。 ・体育の授業だけでなく自らの生活の中で体力向上をめざす運動習慣を確立させる。	・球技大会、体育大会。耐寒登山を実施する。 ・各行事の目標参加率を95%以上とする。 ・体力測定、スポーツテストの結果を踏まえ全学年とも前年度を上回ること。(8項目中5項目以上数値アップを目指す)				
	環境 美化部	○ 校内美化を推進する。	・日々の清掃活動により校内美化を推進する。 ・大掃除を実施する。	・保護者アンケート「五條高校では、清掃が行き届いており、校内がきれいに整備されている。」 29年度〈目標:70%〉			
1-(2)-① ○ 美化委員会活動を充実させる。		・当番制で花の水やり活動を進める。 ・通学路美化活動を実施する。 ・年2回花の植え替えをする。	・花の水やり活動を毎日実施する。 ・通学路美化活動を学期に1回実施する。				
○ 防災教育を推進する。		・避難訓練等を実施することにより、防災意識を高め、災害から身を守る取組を進める。	・火災や地震等を想定した避難訓練を5月に実施する。 ・防災についての放送で生徒に呼びかける。 ・職員研修を行う。				
第1学年	1-(3) ○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。	・中学校との違いを認識し五條高校の生徒としての自覚を持たせ、遅刻や欠席をせず授業に集中して取り組む姿勢を養う。	・遅刻の各クラス別年間総数の平均15回未満、欠席が100回未満とする。				
	1-(3)-①	・学習と部活動の両立を目指し、	・部活動の加入率が80%以上とする。				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動への参加を勧める。</li> <li>1-(1)-①</li> <li>○ 基礎学力を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活を意欲的に過ごす姿勢を育てる。</li> <li>・授業を最大限に活用し、予習・復習を毎日の習慣とさせて、家庭学習の習慣を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ毎日家庭学習をする生徒の割合が70%以上。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-(1)-④</li> <li>○ 進路目標を明確化させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの興味・関心に基づき、適性を探り、進路についての考えを深め、確固たる進路目標を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LHR等の時間を利用し、第1学年の間に進路目標が定まった者が、80%以上とする。</li> </ul>				
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-(3)</li> <li>○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅学年としての自覚をもたせ、遅刻や欠席をせず授業に集中して取り組む姿勢を養う。</li> <li>・挨拶、言葉遣い等の礼儀作法を徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻の各クラス別年間総数の平均が25回未満、欠席が85回未満。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-(1)-①</li> <li>○ 自主学習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提出、小テストの合格に向けての準備を徹底させ、自主学習を習慣付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日にほぼ毎日家庭学習をする生徒の割合が70%以上。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-(1)-④</li> <li>○ 具体的な進路目標を設定させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる場面を通じて、主体的に自己の進路について考えさせ、より具体的な進路目標を設定させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年の間に志望校、志望職種が定まった者が85%以上。</li> </ul>				
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-(3)</li> <li>○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要な挨拶、言葉遣い等の礼儀作法、判断力、規範意識を身に付けさせる。また、残り少ない高校生活を無駄にせず、充実した毎日を過ごさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最高学年としての自覚と責任を持ち、時と場に応じた言動ができる。</li> <li>・クラス別年間遅刻総数の平均が40回未満で、欠席総数の平均が90回未満とする。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-(1)-①</li> <li>○ 自主学習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の進路を見据えて、授業、進学講習等に能動的に取り組ませるとともに、家庭においても自主的な学習を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日に家庭学習をほぼ毎日する生徒の割合が85%以上。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-(1)-④</li> <li>○ 進路目標を決定させ、その実現に向けて取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な進路目標を主体的に決定し、その実現に向けて効果的・能動的に取り組ませる。</li> <li>・一人一人の進路に応じて丁寧な指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職、進学の決定率が95%以上。</li> <li>・「一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」生徒アンケート・保護者アンケート第3学年が85%以上。</li> </ul>				